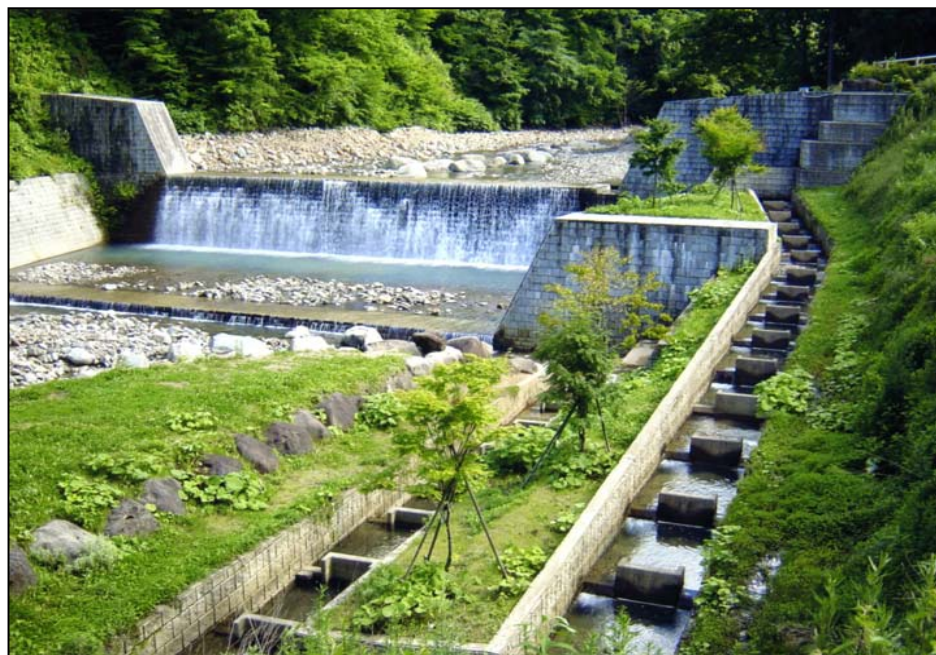


松川第1砂防ダム工事



※注 工事名は発注当時の名称を記載

設計条件

流域面積	30.14km ²
計画高水流量	440m ³ /sec (土砂混入率10%)
元河床巾	30~50m
元河床勾配	1/25
地質	砂礫
転石の大きさ	最大4m、平均1m
計画貯砂量	10,623m ³
計画堆砂勾配	1/50
えん堤基礎状況	—

構造物諸元

えん堤形状	高	長	堤体積
主えん堤	7.0m	56.0m	2,094m ³
副えん堤	3.0m	47.4m	

側壁	重力式
水叩き厚	1.5m

えん堤形式 重力式コンクリートダム

表面処理工法 石張ブロック(鎧積み)

魚道 アイスハーバー型
H16 IM式魚道改良

工事諸元表

所在地	岩手県岩手郡松尾村松川 (現:岩手県八幡平市)
河川名	松川
着工	平成4年3月12日
竣工	平成8年11月28日
工費	333,897,000円(H16含まない)
起業名	岩手工事事務所(現:岩手河川国道事務所)
施工者	H3~H5 岩手水道土木(株) H6~H8 昭栄建設(株)

事業概要

八幡平山系は、火山地形特有の景観と四季折々の自然、また多くの温泉郷、スキー場が点在する一大リゾート地である。しかしその山々に源を発する溪流は急峻な地形を呈し、火山地帯特有な地形などに起因する崩壊地が多く、土砂流出災害を起こしてきた。

土砂整備を行うために、砂防えん堤を計画するとともに、えん堤周辺の自然環境や、温泉地、松川地熱発電所、スキー場などの施設、下流の人々の人命と財産を守ることを目的とした、地域整備計画に配慮した事業である。

工事概要

松川第1砂防えん堤は、周辺の景観や生態系に配慮し、えん堤面には自然石の石張ブロックを使用した。また、魚がのぼりやすい溪流づくりのため、魚道(アイスハーバー型)も設置した。平成16年度にはIM式魚道に改良された。

施工概要

年度	区分	堤体積 (m ³)	本工事費 (千円)	事業費 (千円)	施工概要
平成3年度			31,930	210,130	主ダム、工事用道路
平成4年度			71,317	329,000	主ダム、工事用道路、副ダム
平成5年度			30,727	529,650	主ダム、副ダム、側壁、水叩
平成6年度			53,045	426,400	主ダム
平成7年度			80,546	504,411	主ダム、副ダム、側壁
平成8年度			66,332	340,000	土工、魚道工、法面工
平成16年度			—	799,000	魚道補修(松川第2砂防えん堤魚道緊急復旧工事に計上)
計		2,094	333,897	3,138,591	

一般平面図



縦断面図

